

養父市提案型市民協働事業

過去にはこのような事業を実施しました



【目的】

「市と協働して事業を進めたい」、あるいは「既に行われている市の事業をより良いものにしたい。」という思いをお持ちの皆さんからの提案を受け、共通の目的を達成するために、対等な立場に立って、お互いに協力・協調しながら事業を行うもので、これにより、公共サービスの質の向上、市職員の協働意識の高揚、更には新たな事業への展開などを目指していきます。

【事業規模】

事業費 10 万円以上のものとします。市が負担する経費は、一事業当たり 50 万円を限度とします。

【事業期間】

実施年度の 4 月 1 日～ 2 月末まで。ただし、毎年度の審査を得て、3 年を限度に提案することができるものとします。

提案・採択実績（令和 2 年度）

	団体名	事業名 (協働事業担当課)	事業概要	継続 年数
1	やぶフィルム コミッション	外部映像制作者のための 養父市ロケーション紹介 (商工観光課)	養父市の食・風景・文化など映像を通して、市外の映像制作者に対して養父市で撮影が可能なロケーションを紹介すると同時に、市民の誇りや郷土への愛着の醸成を図る事業を行った。	2 年目
2	やろう会	朝倉山椒の他地区への生産拡大による耕作放棄地の解消及び住民自治再構築の試み (農林振興課)	朝倉山椒ファンクラブの会員と地域との交流会を通して朝倉山椒の PR と販売促進を行った。 朝倉区と朝倉山椒組合と連携して他地区へ朝倉山椒生産の奨励および助言を行い、住民自治活動の促進につなげた。	1 年目
3	養父市在来種 研究会	在来種の研究、栽培と産地化 (農林振興課)	養父市在来種の八鹿浅黄や八鹿青などの地産化を目指して、学習会やワークショップ、フィールドワークによる研究を行った。 また、栽培に取り組む市民を増やし、普及拡大を図った。	1 年目
4	NPO 法人 りとるめいと	親子の心身健康事業 (こども育成課)	子育てに悩む保護者のために、相談専用個室を設置し、専門知識を持ったスタッフとの相談日を設定し、子育て世帯の相談に応じた。 加えて、ヨガやガーデニングなどのイベント等を開催した。	1 年目

提案・採択実績（令和3年度）

	団体名	事業名 (協働事業担当課)	事業概要	継続 年数
1	養父市在来種 研究会	在来種の研究、 栽培と産地化 (農林振興課)	消えかけている在来作物の復活と、地域に栽培を広げるにより、不耕作地の拡大を防ぎ、将来の産地化を目指すため、養父市の在来種大豆である「八鹿浅黄」の種採取用ほ場の確保と整備、優良種の育種と確保を行うほか、研究会の実施による栽培会員数の増加を図った。	2年目
2	Yabu ドライブ インシアター 実行委員会	～はじめての体験！ 星空映画館 @奥米地～ (やぶぐらし課)	新型コロナウイルスの影響によりダメージを負った地域産業を活性化させると同時に、市民が安心・安全に娯楽を楽しめるようドライブインシアター事業を開催した。	1年目

提案・採択実績（令和4年度）

	団体名	事業名 (協働事業担当課)	事業概要	継続 年数
1	NPO 法人 りとるめいと	子育て世代の 防災講座 (防災安全課)	子育て世代の家族形態が多様化する中、近所の交流が減少し、自分の住む地域のことを知らない人が増えている。そのような子育て世代に全6回の防災講座を計画し、防災意識の向上と地域交流を目指した。また、講座に参加できなかった子育て世代にも情報を共有するため、子育て世代向けの防災ガイドブックを作成し、市の乳幼児健診時に配布するなど、協働して周知を行った。	1年目
2	養父市在来種 研究会	在来種の研究、 栽培と産地化 (農林振興課)	消えかけている在来作物の復活と、地域に栽培を広げるにより、不耕作地の拡大を防ぎ、将来の産地化を目指すため、養父市の在来種大豆である「八鹿浅黄」の普及と栽培者増加、産地化に向け、小中学校への出前授業や、ほ場のPR活動を行った。	3年目

提案・採択実績（令和5年度）

	団体名	事業名 (協働事業担当課)	事業概要	継続 年数
1	NPO 法人 りとるめいと	子育て世代の 防災講座 (防災安全課)	初年度（令和4年度）には子育て世帯が災害時に安心して避難してもらうことを目的に、防災講座を企画するとともに、防災ガイドブックを作成し、大きな反響があった。 令和5年度はさらに理解を深めてもらうため、防災講座に加えて、前年度に作成したガイドブックの使い方や養父市防災安全課が公開している非常時用持ち出し品チェックリストをもとに100円ショップで揃う防災グッズを紹介するなど、子育て世帯向けに分かりやすい動画を作成し公開した。	2年目
2	Each and Every	自分らしさを 見つけよう ～子どもの体験活動の 場の提供とサポート～ (こども学び課)	少子化による子どもの減少に加え、コロナ禍の影響で交流イベントのあり方も変わりつつある。このような社会背景の中で、子どもが子どもらしく自由な発想を活かせる体験の機会、五感を活かした直接体験の機会を提供する。 そのために、環境・社会・文化体験活動に関する3回の自然体験ワークショップ（幼少中対象）と、子どもたちの体験活動に関するドキュメンタリー映画の上映会を実施した。 自らの力で考え、活動する場の提供とサポートを担い、子どもの生きる力を育てる。	1年目

提案・採択実績（令和6年度）

	団体名	事業名 (協働事業担当課)	事業概要	継続 年数
1	NPO 法人 りとりめいと	子育て世代の 防災講座 (防災安全課)	令和4年度に作成した防災ガイドブックの内容更新・増刷と、3年目となる防災講座を実施。 近年の地震被害を受け防災ニーズが高まっている中で、被災地支援の体験談など、より実践的な内容となった。災害時には地域との連携も不可欠のことから、地域自治組織等にも周知を行った。本講座をもとに地域から依頼があった場合には、スタッフが講師となり出張ミニ講座を行うことで、持続可能で効果的な事業となった。	3年目
2	Each and Every	自分らしさを 見つけよう ～子どもの体験活動の 場の提供とサポート～ (こども学び課)	昨年度の経験を踏まえ、内容をブラッシュアップしたうえで、自然体験ワークショップを3回とドキュメンタリー映画の上映会を1回開催した。ワークショップは子どもたちが自分たちの住む地域を楽しみ、地域の良さを知る良い機会となった。	2年目
3	社会福祉法人さつき 福祉会障害者支援 施設琴弾の丘	養父市カバトレ プロジェクト (社会福祉課)	令和6年4月から事業所における「合理的配慮」（障害のある方々の人権が障害のない方々と同じように保障され、様々な場面で平等に参加できるよう配慮すること）が義務化した。しかし、市内事業者における認知度が低いため、取組についてワークショップを開催し、内容の周知を行った。	1年目